自然が新鮮

おもいっきりフェスティバル！

―第17回岩室村農業祭盛大に開催―

第十七回岩室村農業祭〝自然が新鮮！おもいっきりフェスティバル〟が先月九日村民体育館で開催され、好天にも恵まれたせいか、大勢の人たちで賑わいました。

当日は、十時のテープカットで『ふれあい野菜市』や『おでん・わたあめ・とん汁などの販売コーナー』などがオープン。中でも、村内の農家が丹精込めて育てた旬の野菜は、販売開始から十五分で完売しました。

その他にも、『コシヒカリおにぎり・甘酒・牛乳の無料サービス』なども行われ、会場に集まった人たちは、楽しい秋の一日を過ごしました。

▼第1回玉入れ大会

大盛況の「ふれあい野菜市コーナー」

■玉入れ大会結果

一位　高橋チーム
二位　石瀬チーム
三位　西船越チーム
敢闘賞　和6チーム

チャリティバザーも大盛況！

農業祭の一画で開催

公民館「ボランティア講座」、風の会と和納十二区老人クラブ婦人部有志による『手作りチャリティバザー』が、同時に開催されました。

当日は、環境にやさしい廃油せっけんや、クリスマス飾り、袋ものなど、手作り品が中心のバザーに、訪れた人たちにも暖かさが伝わり、とても好評でした。

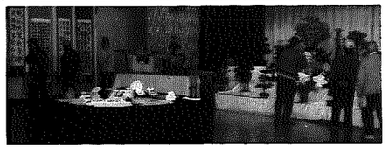
なお、この日の収益金約九万四千円は、社会福祉振興に役立てられるそうです。

孫といっしょにハッスルハッスル！

～ふれあいミニ運動会～

ことしで八回目をむかえた、「ふれあいミニ運動会」が十月二十一日、村民体育館において開催され、村内四保育園の年長児とお年寄り、そして、ボランティアの参加も得て、「ふれあい交流」を図りました。＝写真＝

'97村民文化祭



今年も、11月２日から９日まで、公民館講堂において『村民文化祭』が盛大に開催されました。２・３日の菊花展にはじまり、５～９日の展示部門と、連日大勢の見物入が訪れ、その出展作のすばらしさにためいきをついていました。

中央保育園　防犯指導にケンちゃん来園！

幼児が巻き込まれる事件が多発している中、「防犯・交通安全」などをPRしようと、十月二十四日、巻警察署から長谷川婦人警官と腹話術の人形「ケンちゃん」が来園し、園児たちの前で防犯指導を行いました。

ユーモアたっぷりのふたりに、園児たちも興味深そうに聞き入っていました。

▼ケンちゃんと長谷川警官

"心に染みる美音の世界"

～「音楽に親しむ夕べ」～

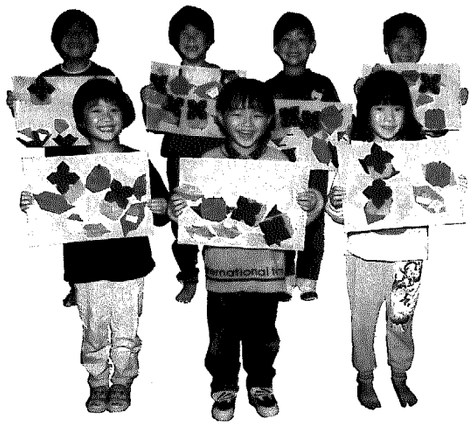
音楽を通して、そのよろこびや感動を一人でも多くの人に感じてもらおうと、10月25日、公民館講堂において『音楽に親しむ夕べ』が開催されました。

15回目を迎えた今回は、ピアノ・フルート演奏、そして美しいコーラスが加わり、180名を超える入場者は、しばし時を忘れ、静かな秋の夜のひとときを堪能していました。

また、ケーナ演奏も独特の雰囲気をかもしだし、会を一層引き立てていました。

◀フィナーレ

ぼくわたしの自信作



■写真上段左から：ほんまよしひさくん、かねこかずなりくん、こいけしゅんすけくん、あべまさかつくん
■写真下段左から：たなかあきこちゃん、かみむらしゅうやくん、たなべみさきちゃん

■中央保育園　五歳児

河内さくらさん　料理の心得伝授！

先月24日公民館講堂においてテレビでもおなじみの河内さくらさんを講師に招き、食生活改善推進委員の講演会が開催されました。

先生の沼垂弁を交えたユーモアあふれる語り口に１時間30分の講演時間もあっと言う間に過ぎてしまいました。講演終了後は、得意な割烹着姿でさっそく委員の皆さんに調理実習を行っていました。

先月号11ページ、シリーズ公共下水道の文章中「１市10町村」が誤って掲載されました。訂正してお詫びします。

勲五等瑞宝章受章

本間　泰さん（石瀬）

教育一筋に50年

変わらぬ情熱、今もなお

平成九年度秋の叙勲で、本間泰さん（石瀬）が「勲五等瑞宝章」を受章されました。

受章された本間さんは、昭和二十年、公立青年学校に赴任以来三十九年六カ月、教育現場や教育行政など、さまざまな分野で敏腕を振るわれました。

特に、中学校校長時代には、道徳教育の推進・教育の環境整備などに尽力。校長として最後に赴任された五十嵐中学校では、大規模校の経営に独自の指導力をもって特色ある学校運営にあたられました。

退職後は、新潟大学教育学部講師として、十三年間にわたり教員の資質向上に努められるとともに、日本進路指導学会理事としても、教育指導の充実に貢献されました。

岩室村でも、昭和六十一年から教育委員として、文部省指定の生涯学習プログラムの開発や、村内両小学校舎、及び村立図書館の新設にご助力いただくなど、学校教育・社会教育の振興に大きな功績を残されました。

現在も、岩室村教育委員長として、また、弥彦村教育相談委員、新潟県雇用促進センター職業カウンセラーとして、忙しく奔走されている本間さんから、『感謝』と題し寄せていただいたお言葉をご紹介します。

感謝

弥彦・多宝の山脈（やまなみ）の麓、石瀬に生を受けて七十三年。皆様の温かいお導きと励ましに支えられて今日に至りました。感謝の念でいっぱいです。

この度、はからずも平成九年秋の叙勲で受賞の栄に浴されていただきました。外に立派な方々が多い中で、私のようなものがと申し訳なく思っています。この身に余る栄誉に身の引き締まる思いです。

私は現職で三十九年半、その後十二年たちましたが、この間、岩室中学校で四年、今は村の教育委員会でお世話になっています。教育一筋というところでしょうか。学校教育、社会教育、教育行政等様々な分野にかかわらせていただきました。あゆみを顧みて、感無量です。

私の人生訓は、〝出会い・ふれあい・磨きあい〟です。子ども達には、一人ひとりが自分の持ち味を見つめ―伸ばし―生かしてほしいと言い続けてきました。

これを契機として、さらに精進に努め、与えられた仕事の推進に微力を尽くしていきたいと心しています。よろしくお願いいたします。

「緑と太陽と水の里」誇れる我が岩室村の発展を念じつつ。

ありがとうございました。